

「あいさつ」キャンペーン

ひる

えが

広げよう 笑顔いっぱい あいさつの輪



朝のあいさつ運動

けしき  
むし  
X

① 大きくくつよく



# 1年教室

①やさしさ・おもいやりのほっほ

②がんばる・あきらめないほっほ

③じかん・きまりをまもるほっほ

④えがお・あかるくたのしいほっほ

1年教室

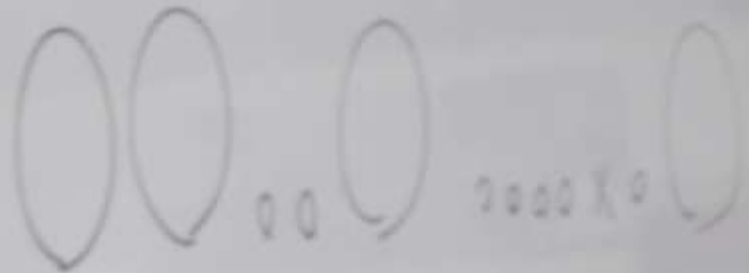


1年教室

# 5年音楽



教室の椅子の数  
前川美以♡



A5

A9

A7

5年音楽

# 5年音楽





個別支援学級



# 豊田小「国際ロード」

わたしには ゆめがある！

“I have a dream.”

世界がひとつになるまで  
キング牧師

キング牧師の  
カブよいいこと！

マーティン・ルーサー・キングの

横浜市立豊田小学校図書室

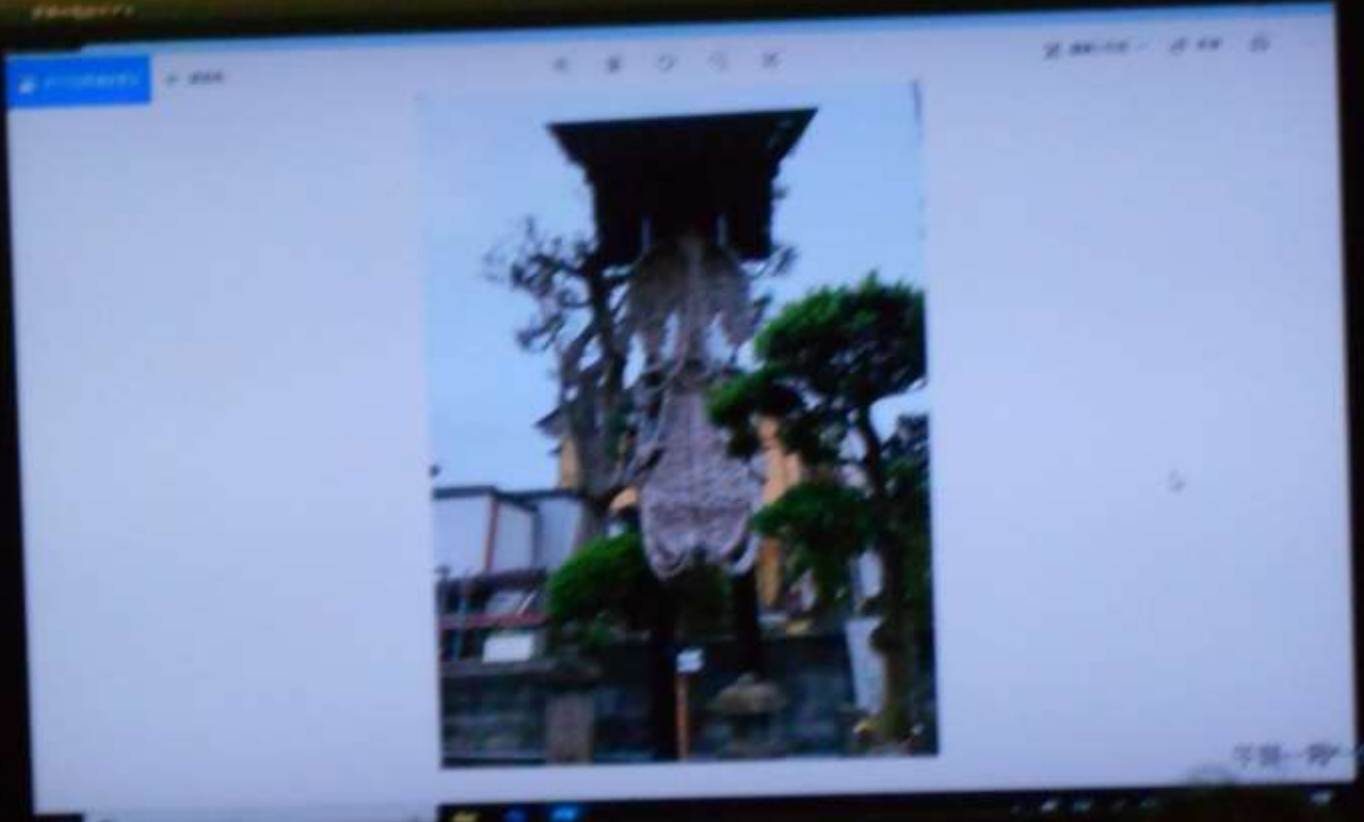


054072485

ドリーン・ラバポート/文 ブライアン・コリアー/絵 もりう

# 4年道徳





# 4年道徳



この写真は  
朝、撮って  
きたんだよ。

「ええ～！」

4年道徳



横浜地域有形民俗文化財

みよこやと

# 南谷戸のおおわらじ

平成五年十一月一日 登録  
所有者 南谷戸和楽協会

「南谷戸のおおわらじ」は、大正初期に土地の所有者が貴重  
に保存する神楽、舞臺に足廻りを奨励したのかきりかけと  
なり、南谷戸の家藏としておおわらじを製作し、秋の水に  
祭したのが始まりといわれています。

昭和三〇年頃には、秋の水が枯れてしまったため、梅う  
の自然の水木に移入、さらに、現在は秋の神楽に混み込ん  
で祭っています。

その、おおわらじの規格は、全長三、五メートル、幅一、  
五メートル、重量二〇のキログラムを越りません。

家内実業、本職舞臺を離れて作られたおおわらじも、戦  
時中は生産され、戦後は交通安全を回復するなど時代を反  
映しながら作られた。市内で最大規模しい作事の一つです  
なお、戦後のおおわらじは、南谷戸和楽協会の手により  
三年毎に作り替えられる。大切に保存されています。

平成三年十一月

横浜市教育局

# 4年道徳

# 4年 道德





# 4年道徳



# 4年 道德



# 4年 道徳



# 4年道德





# 4年道徳

# 4年道徳



# 4年道徳





# 4年道徳

# 4年 道徳



ふるさとを守った大イチョウ

# 4年道徳

ふるさとを守った大イチョウ







東京都墨田区にある桃木稲荷神社には、五百年も生きている大きなイチョウの木があります。墨田区でもっとも古いこの大イチョウには、次のような言い伝えがあります。

\*

大目、あついでにはされてきたイチョウのえだが、この土地にささって、根づいた、それを見た人々は、「これは、よいことがおこるしにちがいない。」と、神社に怒ることになった。その「とび木」がこの神社の名前にもなり、やがて生長して大イチョウになった。

\*

この大イチョウは、よく見ると、みきが真っ黒にやけどしているのがわかります。あついでよりおの部分はやけど落ちていますが、黒いみきのあちらこちらから



らは、たくさんのおえだが生えています。どうしてこのようになつたになつたのでしょうか。

一九四五年（昭和二十年）、日本はせんそう中でした。そして三月十日の東京大空襲によって、多くの家やたてものがやける火さいがおこりました。

東京大空襲では、たくさんのおぼくだんが落とされました。そのぼくだんの多くは、火さいをおこすためのぼくだんでした。当時、日本の多くのたてもものは木でつくられていたので、あつという間に火が広がっていったのです。

そのとき、この大イチョウといっしょに道路にそって植えられていた、何本ものイチョウの木が、せまらなくなる火を食い止め、火がもえ広がるのを、ふしはらした。神社のためものや近所の家なども、やけどにすみましたが、大イチョウは、みぎの全



4年道徳

# 4年道德



# 4年道德



# 4年道徳





# 4年 道德

# 4年道徳



生き延びた大イチョウの木  
を思い、町の人々はどう思った？  
「ありがとう」  
「今度は自分たちが守る」  
自分たちも育てよう

「かっこいい」  
「守ってみたい」  
「この木のおかげ」  
「なめた、いいね」

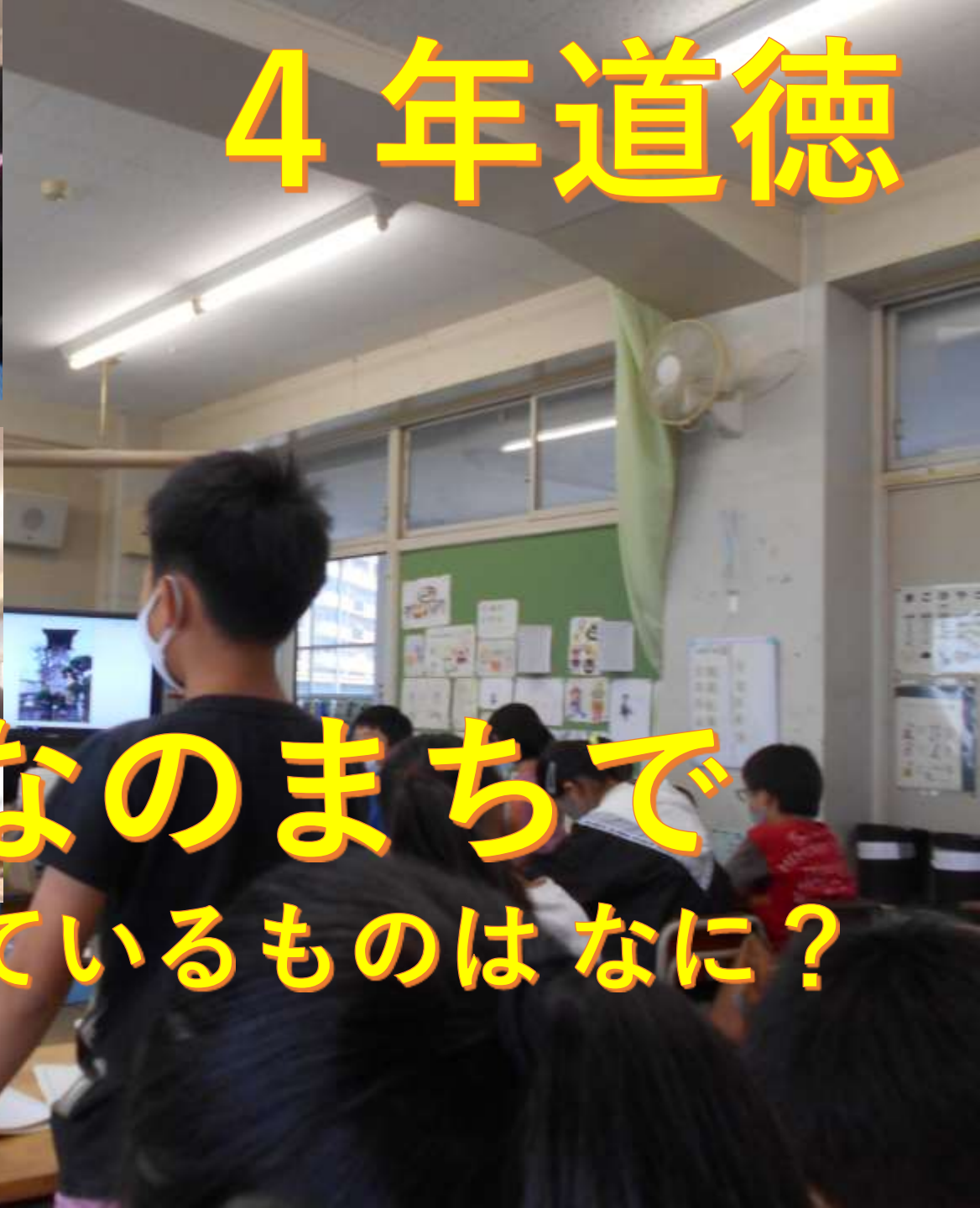
黒く焼けた「けたい」  
と見て「何かなんかな」

「ふるさとを守った大イチョウ」

地域のよさを守るため  
どんな考えか？

大いちょう  
日本の伝統的なもの  
大切にしよう  
昔から守ってこられた

# 4年道徳



みんなのまちで  
大切にされているものはなに？

# 4年道徳

今度は自分たちが守る  
自分たちも立て直そう

「かんぱん」  
アイロ

みんなの町で大切にされている  
ものは何があるかな？

学校 大町さじ、柏原  
はちまんいっ  
八幡宮 二宮金次郎





# 4年道徳

10/23

大わらし（大和）  
日本の伝統的なもの  
大ひらぎ

地域のよさを守るためには  
どんな考えや行動が必要か考えよう

ふることを守った大イナウ  
黒く焼く → けいだい  
とじてのけんをほじく  
かなしい  
→ 守てくれば  
この木のおかけ  
なれたらいいな

生きた大イナウの木  
を建て町の人はほじくした？  
ありかたいな  
今度は自分でもが守る  
自分たちも守るよ

みんもの町で大切にされていろ  
ものは何かあるかな？  
学校 大わらし 柏尾川  
八幡宮 二宮金次郎

自分たちを守り  
未来へつなぐ



# 4年道徳





この木のおかげ  
なあっていいな

生き返った大イチョウの木  
を見て、町の人々はどう思った？

ありがたいな

今度は自分たちが守る

自分たちも立て直そう



みんなの町で大切にされている  
ものは何かがあるかな？

- 学校 大あらいじ、柏尾川
- 八幡宮
- 二宮金次郎

自分たちが守る  
未来へつなぐ

# 4年道徳

# 自分たちが守る

# 未来へつなぐ



私たちが食べている食料も、一つ一つの大切な命だということ。

☆これから取り組むこと

毎日、食べる前に心をこめて、「いただきます」といって、一つ一つの命の重みを感じとりたいです。食べた後も、「ごちそうさまでした」と言い、ありがたさという感謝の気持ち伝えたいです。

10月23日

題名

ふるさとを守った大イチョウ

☆学習してわかったこと、考えがかわったこと

大わらし・かしお川は昔から受けつがれていて、それを私たちが未来へつなぐことが必要だということがわかりました。

☆これから取り組むこと

昔から今、今から未来というのほりーみただと思心いました。なので自分も昔から受けつがれている大切なものなので、未来にしるガリバトンをおわたし、何百年たっても町の人のたちのシンボルになるように努力したいです。

4年  
道徳

学習して わかったこと  
考えが かわったこと

大わらじ・かしお川は  
昔から、受けつがれていて、  
それを私たちが、  
未来へつなぐことが  
必要だということが  
分かりました。

これから取り組みたいこと

『昔から今、今から未来へ』  
というのは、

リレーみたいだと  
思いました。

これから取り組みたいこと

なので、  
自分も

昔から受けつがれている  
大切なものなので、



これから取り組みたいこと

未来に、  
しっかりと  
バトンをわたし、

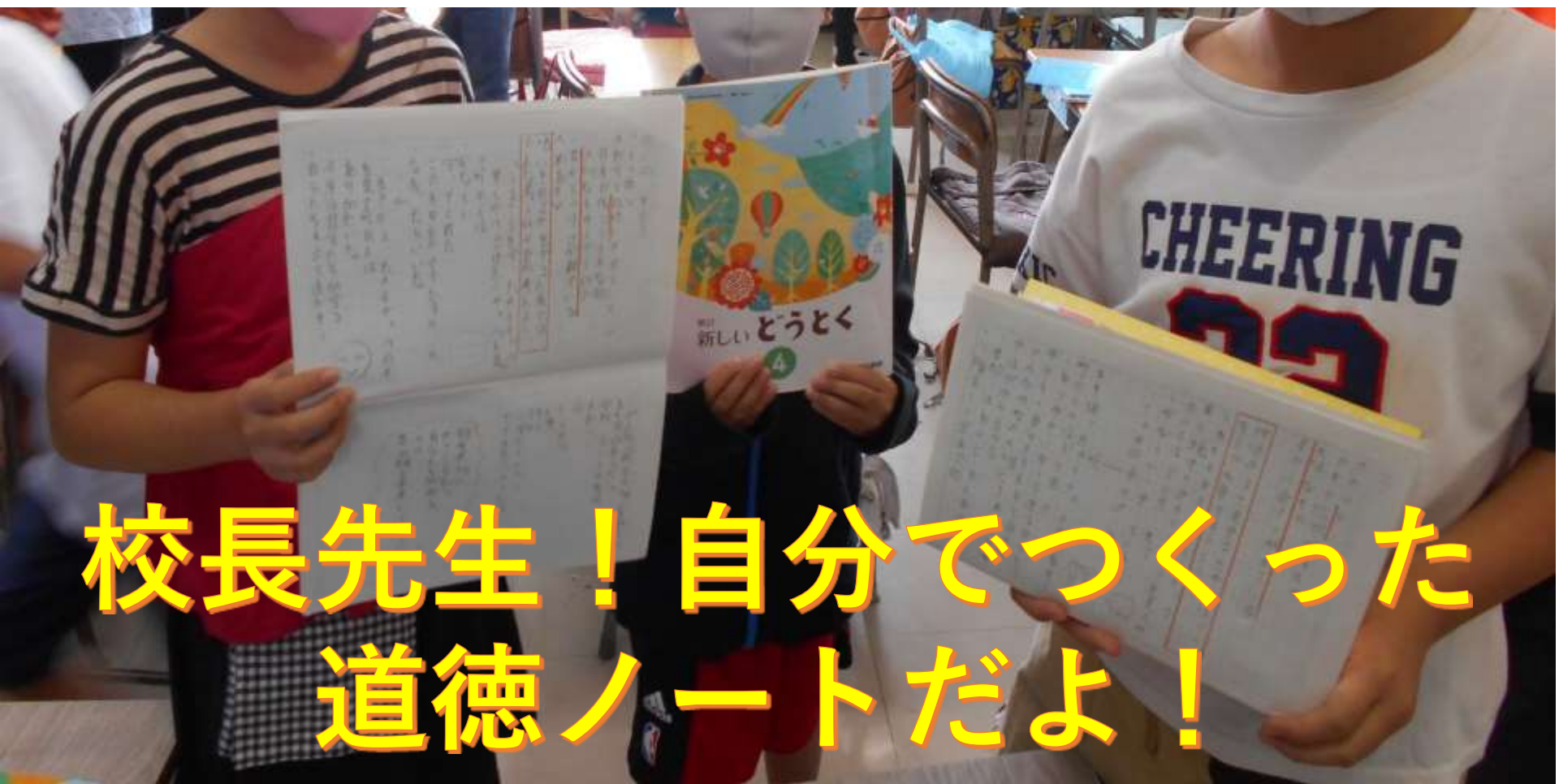


何百年たっても、  
町の人たちのシンボルに  
なるよう努力したいです。



道徳の時間が終わったあとで

校長先生！自分でつくった  
道徳ノートだよ！

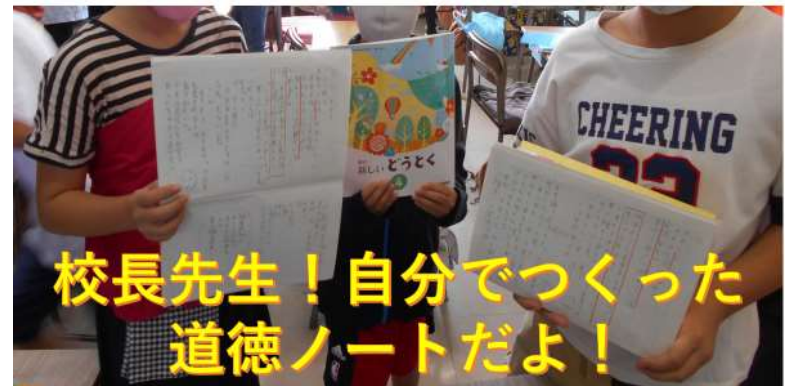


# 2人の女子児童が オリジナルの 「道徳ノート」を 見せてくれました。

道徳の時間が終わったあとで

## J K K

自分たちで考えて行動する



「校長先生！  
僕は、道徳の授業が  
一番好きなんだよ！」

(道徳の教科書を持った児童)



道徳の時間が終わったあとで





希望をともにつくりだす  
横浜市立豊田小学校